**関東学院大学若手研究奨励制度　研究計画書（助成金申請書含む）**

年　　月　　日

　関東学院大学長　殿

所　属・職位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 印

連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ

所属長氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 応募年度 | 2025年度 | 生年月日 | 年　　月　　日生　（　　歳） |
| 学位 |  | 博士号取得年月日 | 年　　月　　日 |
| 令和8年度（2026年度）科研費「若手研究」の応募資格（該当するものを🗹してください。） | □　①2026年4月1日現在で博士の学位取得後8年未満の者□　②2026年4月1日現在で博士の学位取得後に取得した育児休業等（産前・産後の休暇、育児休業）の期間を考慮すると、博士の学位取得後8年未満となる者 |
| エフォート | ％ | 助成金交付申請額 | 　円 |
| 研究課題 |  |

|  |
| --- |
| 助成金の対象経費の使用内訳（金額単位：千円） |
| 機器備品・用品費 | 消耗品費 | 旅費交通費 | 人件費・謝金 | その他 |
| 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 | 事項 | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |

|  |
| --- |
| **研究目的、研究方法など**本研究の目的と方法などについて、**2頁以内**で記述すること。冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、（1）本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、（2）本研究の目的および学術的独自性と創造性、（3）本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、（4）本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、（5）本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。 |

 〔概要〕　*※10行程度で記述してください。*

〔本文〕

|  |
| --- |
| **応募者の研究遂行能力及び研究環境**応募者の研究計画の実行可能性を示すため、（1）これまでの研究活動、（2）研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について記述すること。「（1）これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。記述に当たっては、研究業績を網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実効性を説明するうえで、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。研究業績を記載する場合は、当該発表業績を同定するに十分な情報を記載すること。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報など。論文は、すでに掲載されているもの又は掲載が決定しているものに限って記載すること。 |

|  |
| --- |
| **これまでに受入れた研究費・現在受入れている研究費**これまでに受入れをした研究費（科研費やその他の研究助成金等。学内・学外問わず。）のうち主要なものを記入すること。また、現在受入れている（交付内定も含む）研究費も記入すること。 |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名称） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割（代表・分担） | 研究期間全体の研究経費（千円） | エフォート（％） | 研究概要（簡潔に記入してください。） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  | 公募期間変更に伴う追加 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |